

張氏雄飛の準備

第三國に退き、地理的に望む米
糧にかゝる發展を見るは、詞地が
如何に邦人の移住に適宜なるかを
考へねばならぬ。今々の如く自海
陸交通の便を得た日本は單なる島
國に止まるべきものではない。第一
人々の精神者は從つて少くも一程
度低く振ふることを要する。第二
日本人は其得たる富を如何に持
ち去るか。第三日本人は單なる島

第一の日本活動者は從つて少くも一程度低く振ふることを要する。第二日本人は其得たる富を如何に持ち去るか。第三日本人は單なる島國に止まるべきものではない。

白の實業家と在邦非人とが相殺
 の少くも
 一、百萬圓位の基金を集
 て人に誤解を解くのプロバカ
 を爲すにあり、之によりまづ

て、
も斯の如きは獨り米國の實力な
以らざるものと空言のみならず他
二萬の邦人の胃の一顧を詰す
べきは疑ひ無く其の衆と云はさ

可如十却り
 る其萬しり
 計のに越え
 面を相安
 一城に
 入る

鮮銀券發行高

ジョウと云ふ男は英國人である。彼が朝鮮人の爲に運動に同僚をせ、不逞婦人を保護し、日海賊府との交渉を取り、島の不逞文藝

を以て相互の面目を維持するやうにやつて貰ひたい、世間では笑ふて居ると云ふことに氣付いて貰ひたい、新陳代謝の争ふ所は別に在る

大正九年八月七日
京城黃金町黃金
近田商

會自働車部

